

4月8日 大岩岳

染矢 つや子

山名	大岩岳	山行名	例会 日帰り
ルート	道場駅～千刈ダム～大岩岳～東大岩岳～丸山湿原～東山橋分岐～東山橋～道場駅		
山行日	4月8日(土)	天候	晴れ時々曇り
参加者	リーダー：染矢 サブリーダー：伊藤(典) 男性：西川 女性：河野・川田 合計：5名		

ルート概略図		コースタイム					
		地名		時：分			
道場駅	道場駅	道場駅	集	8：51	東山橋	着	15：20
↓	↑		発	9：00		発	
千刈ダム	東山橋	千刈ダム	着	9：45	道場駅	着	15：40
↓	↑		発	10：00		発	
大岩岳	鉄塔	大岩岳	着	12：15		着	
↓	↑		発	12：40		発	
東大岩岳	東山橋標識	東大岩岳	着	13：00		着	
↓	↑		発	13：10		発	
→	丸山湿原	丸山湿原	着	13：50		着	
			発	14：10		発	

山行報告

気候の良い季節、個人山行レベルの参加者となりました。道場駅前には「百丈岩」にクライミングに行く強者達が集まっています。我々はのどかなハイキング。今電車を通った踏切を渡り右手に羽束川を見ながら、水量多く川の流は驚く程早い。東山橋分岐で自己紹介、簡単なコース説明。千刈ダム管理棟の扉は平日・休日問わず閉まっていると野鳥撮影の男性に聞いた。川と管理棟の狭い間が登山道になっている。直進すると千刈貯水場(神戸市水道千刈水源地)轟音と水しぶきに橋が渡れるか不安になる。黒部ダムに負けない放流で圧倒される。水しぶきを気にしつつ足早に橋を渡る。左手方向の山に入り登山開始となる。尾根伝いの木々の隙間からダム湖が見える。ハート型に見えるところもある、と書いてあったがわかりづらい。

頂上は384mと低い山ですがピークを二つ超えて下ったところから、今日のハイライト直進の急坂、最後の岩と格闘すれば360度のパノラマ！ 予報では晴れでしたが雲がかかりパットしません。東大岩岳は大きな1枚岩を見上げながら登る。狭いが眺望良し。ストックが必要だったり邪魔だったり忙しい人も。丸山湿原は枯れ湿原、「登山道の方が湿原より水分多い」との声あり。着た道を少し戻るがぬかるみを避けて山の中の道を歩く。尾根方向に登り「東山橋」の標識通りに下る。晴れたり曇ったり、パラパラ水滴が落ちてきたりとややこしい1日でしたが、つつじのピンクに包まれ和やかなハイキングとなりました。

ヒヤリハット

ぬかるみ、足元ばかり見ていたら左方向に行くべき所を直進、マップを見て気づく。10分のロスタイム

大岩岳感想

川田 真理

山についても初心者、地理も苦手な私は、今回登った「大岩岳」も勿論初めて知る山でした。道場駅を出発して、川沿いを歩き現れたのは、前日の雨の影響か大迫力の水しぶきを巻き上げる千刈ダムでした。しばし、その水の音としぶきの中で、異空間にいるような感覚を楽しみました。

山は、そこここにミツバツツジが可愛く咲き私たちを迎えてくれました。大岩岳山頂直前には急登があったり、川を渡ったり、変化に富んで楽しい山歩きでした。山友会に入会して今まで出来なかった体験をさせて貰えて感謝です。



(川田 真理さん撮影)

河野 典子

染矢さん担当の大岩岳（384m） 体力度★1 技術度★1に引かれて、パソコンも古くなり使えず、松井山手駅出発7：20だけを頼りに申し込みました。電車に乗ると5人皆揃いました。

JR道場駅下車、昨日の雨も止み薄日が射しています。

若かりし頃、千刈ダムに行った記憶はありますが、大岩岳ははじめてと思います。

道中、新緑・椿・つつじ・雪柳と色とりどりに咲きほこっています。昨日の大雨で千刈ダムの水量は凄いものです。前を横切るのにレインコート着用しなければと思いましたが何とか通れました。

山頂直下は急登でここが頑張りどころと励まされ登りきることが出来ました。

東大岩岳365m 365日をもじって西川さんから1句が出ました。大笑いです。

句は忘れましたが！ 私は「あ、ストック何処に置いたかな？手袋は？」と物忘れが多くなり頭が弱っています。足が元気でも山登りが出来ない事に気づきました。元気な先輩を見習って今年1年は頑張りたいと思います。 ご一緒していただいた皆様ありがとうございました。